

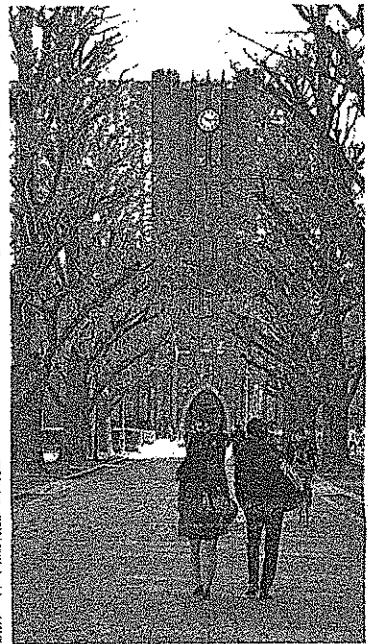
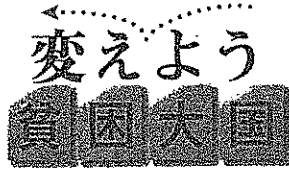
「奨学金」という名の貧困ビジネス

追い詰められる若者

強引な返済計画・多額の延滞金・財産差し押さえも

大学生の半数が利用している奨学金が貧困ビジネスと化しています。強引な返済計画に多額の延滞金、財産の差し押さえ。サラ金を思わせる手法が、若者たちを経済的、肉体的、精神的に追い込んでいます。

(岩川章子)



都内の大学

3万円235回払い

「毎月3万円。235回払い。払えますね」

「はい」

「2回守れなかったら一括返済ですよ。それもできなかったら財産差し押さえですよ。いいですね」

「はい」

2月。東京地裁。被告席に立つ若い男性は、裁判長

のよびかけに消え入るような声で答えました。肩は震えています。裁判は3分

終わりました。

「僕が悪いんです。僕が借りましたから」。

裁判後、廊下で対面した男性はうつむき言葉少なに走り去ってしまいました。

奨学金を貸し付けている日本学生支援機構は、奨学金の返済が滞った利用者や親への訴訟を乱発しています。2012年度は6193件、8年前の100倍です。この日、東京地裁では

午前中だけで3件の訴訟がありました。

「えっ、何これ」

訴訟に呼び出された男性(33)は支払督促の金額に目を凝らしました。返済金約250万円。うち元金は約200万円、残り約50万円が延滞金です。

「無利子の奨学金を借りたのに、なぜって思いますが。払わなかった自分が悪いのかもしれないけれど、話し合いもな〜、いきなりこれ。高すぎる」

奨学金訴訟で財産や給与の差し押さえを行う強制執行は320件(14年度)にのぼります。個人信用情報機関に登録(ブラックリスト入り)した件数は1万7279件です。

日本弁護士連合会が昨年11月18日に行った「奨学金ホットライン」には1日で773件の相談が寄せられました。

▼毎月2万円払っているが、延滞金がかさみ元本が減らない。

▼強制的に返済通知が来た。総額400万円。

▼奨学金事業が回収強化へのり出したのは、小泉純一郎政権下の2004年、日本育英会が独立行政法人「日本学生支援機構」(機構)へと移行してからで

ない。

▼奨学金事業が回収強化へのり出したのは、小泉純一郎政権下の2004年、日本育英会が独立行政法人「日本学生支援機構」(機構)へと移行してからで

ない。

▼奨学金事業が回収強化へのり出したのは、小泉純一郎政権下の2004年、日本育英会が独立行政法人「日本学生支援機構」(機構)へと移行してからで

ない。

▼奨学金事業が回収強化へのり出したのは、小泉純一郎政権下の2004年、日本育英会が独立行政法人「日本学生支援機構」(機構)へと移行してからで

ない。

▼奨学金事業が回収強化へのり出したのは、小泉純一郎政権下の2004年、日本育英会が独立行政法人「日本学生支援機構」(機構)へと移行してからで

ない。

▼奨学金事業が回収強化へのり出したのは、小泉純一郎政権下の2004年、日本育英会が独立行政法人「日本学生支援機構」(機構)へと移行してからで

1日773件の相談

▼毎月2万円払っているが、延滞金がかさみ元本が減らない。

▼強制的に返済通知が来た。総額400万円。

▼奨学金事業が回収強化へのり出したのは、小泉純一郎政権下の2004年、日本育英会が独立行政法人「日本学生支援機構」(機構)へと移行してからで

ない。

▼奨学金事業が回収強化へのり出したのは、小泉純一郎政権下の2004年、日本育英会が独立行政法人「日本学生支援機構」(機構)へと移行してからで

ない。

▼奨学金事業が回収強化へのり出したのは、小泉純一郎政権下の2004年、日本育英会が独立行政法人「日本学生支援機構」(機構)へと移行してからで

ない。

▼奨学金事業が回収強化へのり出したのは、小泉純一郎政権下の2004年、日本育英会が独立行政法人「日本学生支援機構」(機構)へと移行してからで

ない。

▼奨学金事業が回収強化へのり出したのは、小泉純一郎政権下の2004年、日本育英会が独立行政法人「日本学生支援機構」(機構)へと移行してからで

ない。

▼奨学金事業が回収強化へのり出したのは、小泉純一郎政権下の2004年、日本育英会が独立行政法人「日本学生支援機構」(機構)へと移行してからで

ない。

▼奨学金事業が回収強化へのり出したのは、小泉純一郎政権下の2004年、日本育英会が独立行政法人「日本学生支援機構」(機構)へと移行してからで

現在の機構理事長・遠藤裕氏が高い回収率を「メガバンクと同じ」とアピールしています。

平均利用額は約300万円という奨学金。そして約33万人が返済を滞納しています。

秋田県で一人暮らしをする女性(22)も約400万円の奨学金返済を抱えています。両親は病気がちで、家計からの学費の捻出はとうとう限界までです。

卒業後、正社員として勤めるも月収は12万円ほど。「結婚や出産なんて考えられない。現状維持で精いっぱい。この間は若い人になせよ。ここまで求めるのか。力になつてやります」。

機構の会計資料によると、14年度の利息収入は約370億円、延滞金収入は約40億円です。日銀出身の

一人ひとりの事情を聞いていた返済相談は「非効率」として一変、「金融機関に入らなければ」と退

職した職員もいるといいますが、400人ほどの正職員

の半数は非正規や派遣社員に置き換えられました。

機構の会計資料によると、14年度の利息収入は約370億円、延滞金収入は約40億円です。日銀出身の

一人ひとりの事情を聞いていた返済相談は「非効率」として一変、「金融機関に入らなければ」と退

職した職員もいるといいますが、400人ほどの正職員

の半数は非正規や派遣社員に置き換えられました。

機構の会計資料によると、14年度の利息収入は約370億円、延滞金収入は約40億円です。日銀出身の

一人ひとりの事情を聞いていた返済相談は「非効率」として一変、「金融機関に入らなければ」と退

職した職員もいるといいますが、400人ほどの正職員

の半数は非正規や派遣社員に置き換えられました。

機構の会計資料によると、14年度の利息収入は約370億円、延滞金収入は約40億円です。日銀出身の

一人ひとりの事情を聞いていた返済相談は「非効率」として一変、「金融機関に入らなければ」と退

職した職員もいるといいますが、400人ほどの正職員

の半数は非正規や派遣社員に置き換えられました。

機構の会計資料によると、14年度の利息収入は約370億円、延滞金収入は約40億円です。日銀出身の

一人ひとりの事情を聞いていた返済相談は「非効率」として一変、「金融機関に入らなければ」と退

職した職員もいるといいますが、400人ほどの正職員

の半数は非正規や派遣社員に置き換えられました。

機構の会計資料によると、14年度の利息収入は約370億円、延滞金収入は約40億円です。日銀出身の

一人ひとりの事情を聞いていた返済相談は「非効率」として一変、「金融機関に入らなければ」と退

職した職員もいるといいますが、400人ほどの正職員

の半数は非正規や派遣社員に置き換えられました。

機構の会計資料によると、14年度の利息収入は約370億円、延滞金収入は約40億円です。日銀出身の

一人ひとりの事情を聞いていた返済相談は「非効率」として一変、「金融機関に入らなければ」と退

職した職員もいるといいますが、400人ほどの正職員

の半数は非正規や派遣社員に置き換えられました。

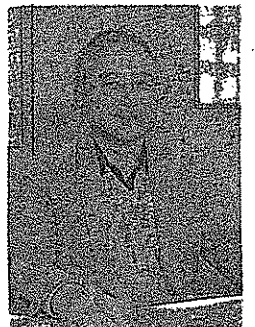
機構の会計資料によると、14年度の利息収入は約370億円、延滞金収入は約40億円です。日銀出身の

一人ひとりの事情を聞いていた返済相談は「非効率」として一変、「金融機関に入らなければ」と退

高学費・低賃金・"サラ金化"で「三重苦」

奨学金問題対策全国会議事務局長

岩重佳治 弁護士



奨学金返済に苦しむ人たちの多くは、自分の方ではどうにもならない理由で構造的に生み出された。被害者です。異常な高学費、そして低賃金・不安定雇用、金融ビジネスとなった奨学金制度という「三重苦」に苦しめられています。

機構は「返済手段がある」といいますが、貧しい手は裁量でいかようにも制限できる不十分なものです。

返済期限の猶予制度もあります。しかし延滞があれば、元金と延滞金をすべて支払わなければ利用は制限されます。経済的困難を理由とする返済猶予期間も最長でも10年間です。

延滞が生じた人に返済期限が来ない金額も含めて「繰上げ一括請求」までしています。

機構の奨学金は民間資金を大幅に導入することで拡大してきました。回

切の替えるときです。

「耐える力を変える力に。裏に学びと成長を支える制度へと根本から

切り替えるときです。

「耐える力を変える力に。裏に学びと成長を支える制度へと根本から

切り替えるときです。

「耐える力を変える力に。裏に学びと成長を支える制度へと根本から

切り替えるときです。

「耐える力を変える力に。裏に学びと成長を支える制度へと根本から

切り替えるときです。

「耐える力を変える力に。裏に学びと成長を支える制度へと根本から

切り替えるときです。

「耐える力を変える力に。裏に学びと成長を支える制度へと根本から

切り替えるときです。

「耐える力を変える力に。裏に学びと成長を支える制度へと根本から

切り替えるときです。

「耐える力を変える力に。裏に学びと成長を支える制度へと根本から

切り替えるときです。

「耐える力を変える力に。裏に学びと成長を支える制度へと根本から

切り替えるときです。

「耐える力を変える力に。裏に学びと成長を支える制度へと根本から

切り替えるときです。

「耐える力を変える力に。裏に学びと成長を支える制度へと根本から

切り替えるときです。

「耐える力を変える力に。裏に学びと成長を支える制度へと根本から

切り替えるときです。

「耐える力を変える力に。裏に学びと成長を支える制度へと根本から

切り替えるときです。

「耐える力を変える力に。裏に学びと成長を支える制度へと根本から

切り替えるときです。

貧困の現状と打開策を探るシリーズ「変えよう 貧困大国」(随時掲載)を始めます。